

2019年3月期 第2四半期 決算補足資料

2018年11月5日

京阪ホールディングス株式会社

(東証1部 9045 [https:// www.keihan-holdings.co.jp/](https://www.keihan-holdings.co.jp/))

◆見通しに関する注意事項◆

業績予想及び将来の予測等に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としています。

実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2019年3月期 第2四半期

決算の概要

連結損益計算書

- 台風など自然災害による影響はあったものの、不動産業における開発物件等の売却などにより増収、営業利益、経常利益においても増益。親会社株主に帰属する四半期純利益については、前年度に計上した京阪ライフサポート株式売却益の反動減などにより減益。

(単位：百万円)

	2017/09	2018/09	増減	増減要因	2018/09 5月発表予想	増減
営業収益	143,752	152,846	9,093 (6.3%)	詳細は「セグメント情報」を参照。 ※自然災害による減収△1,892	148,000	4,846 (3.3%)
営業利益	15,740	17,014	1,274 (8.1%)		15,600	1,414 (9.1%)
営業外収益	962	1,064	102			
営業外費用	1,848	1,782	△66			
経常利益	14,854	16,297	1,442 (9.7%)		14,700	1,597 (10.9%)
特別利益	3,858	894	△2,964	関係会社株式売却益△3,164		
特別損失	418	453	35	災害による損失+107		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12,532	10,949	△1,583 (△12.6%)		10,000	949 (9.5%)
減価償却費	9,298	9,605	306			
E B I T D A	25,039	26,620	1,580 (6.3%)	※EBITDA：営業利益+減価償却費		
受取利息及び配当金	512	602	89			
支払利息	1,278	1,219	△59			
金融収支	△765	△616	148			

セグメント情報

自然災害による減収 運輸業:△514百万円、不動産業:△9百万円、流通業:△776百万円、レジャー・サービス業△592百万円

(単位:百万円)

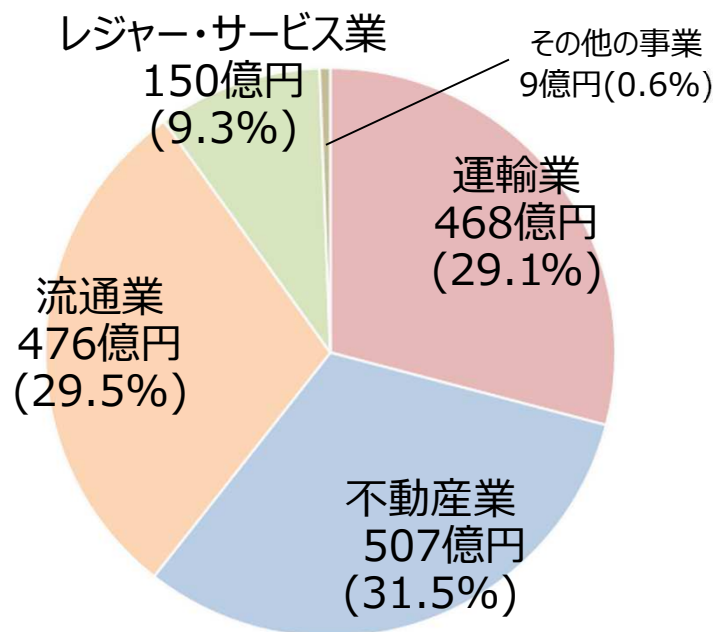
		2017/09	2018/09	増減額	増減率
運 輸 業	営 業 収 益	46,595	46,863	268	0.6%
	営 業 利 益	5,993	6,414	420	7.0%
不 動 産 業	営 業 収 益	40,026	50,733	10,706	26.7%
	営 業 利 益	6,230	7,264	1,033	16.6%
流 通 業	営 業 収 益	48,609	47,625	△984	△2.0%
	営 業 利 益	975	1,150	175	18.0%
レジャー・サービス業	営 業 収 益	15,951	15,009	△941	△5.9%
	営 業 利 益	2,914	2,097	△816	△28.0%
そ の 他 の 事 業	営 業 収 益	929	921	△8	△0.9%
	営 業 利 益	12	△10	△22	—
全 社 ・ 消 去	営 業 収 益	△8,360	△8,307	53	—
	営 業 利 益	△385	98	484	—

セグメント情報（構成比）

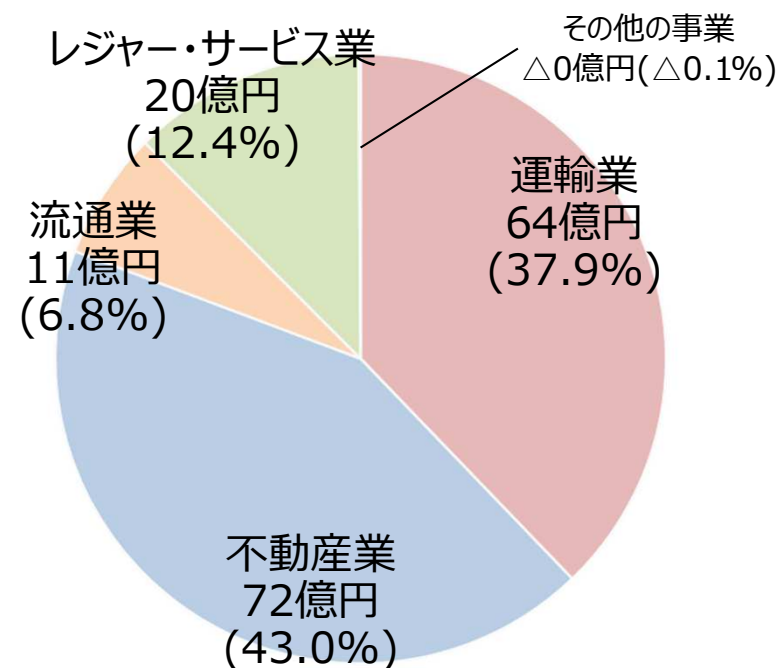
【連結対象会社】40社（対前年同期 増減なし） 【持分法適用会社】2社（対前年同期 増減なし）

運 輸 業	京阪電気鉄道、京福電気鉄道、京阪バス 他12社
不 動 産 業	京阪ホールディングス、京阪電鉄不動産、ゼロ・コーポレーション、京阪建物 他7社
流 通 業	京阪百貨店、京阪ザ・ストア、京阪流通システムズ、ビオ・マーケット 他1社
レジャー・サービス業	ホテル京阪、京阪ホテルズ&リゾート、琵琶湖汽船 他5社
そ の 他 の 事 業	京阪カード

<セグメント別営業収益>



<セグメント別営業利益>



(注)セグメント数値は、セグメント間取引消去を含む金額、構成比であります。

セグメント情報（運輸業）

（単位：百万円）

	2017/09	2018/09	増減額	増減率
営業収益	46,595	46,863	268	0.6%
鉄道事業	38,151	38,061	△89	△0.2%
バス事業	13,478	13,736	257	1.9%
消去	△5,035	△4,934	100	—
営業利益	5,993	6,414	420	7.0%
鉄道事業	5,228	5,537	308	5.9%
バス事業	760	871	110	14.6%
消去	4	6	1	—

（主な増減要因）

- 鉄道事業は、自然災害による運休等の影響があったものの、京阪電気鉄道において定期旅客数増加や「プレミアムカー」及び「ライナー」列車の通期寄与に加え、経費の減少もあり、増収増益。
- バス事業は、関西国際空港線（リムジンバス）の利用者数増加などにより、増収増益。

運輸成績 京阪電気鉄道

	2017/09	2018/09	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
旅客収入	25,888	25,849	△39	△0.2
定期外	17,470	17,305	△165	△0.9
定期	8,418	8,544	125	1.5
	千人	千人	千人	%
旅客数	148,845	148,390	△454	△0.3
定期外	75,603	73,902	△1,701	△2.2
定期	73,241	74,487	1,246	1.7

(定期外旅客収入の主な増減要因)

- 自然災害による影響△307百万円、「プレミアムカー」及び「ライナー」列車の通期寄与+172百万円

(定期旅客収入の主な増減要因)

- 雇用情勢の改善

セグメント情報（不動産業）

（単位：百万円）

	2017/09	2018/09	増減額	増減率
営業収益	40,026	50,733	10,706	26.7%
不動産事業	32,628	43,902	11,273	34.6%
建設事業	9,558	9,885	326	3.4%
消去	△2,160	△3,054	△893	—
営業利益	6,230	7,264	1,033	16.6%
不動産事業	6,497	7,433	935	14.4%
建設事業	△127	△119	8	—
消去	△138	△49	89	—

（主な増減要因）

- 不動産販売業は、開発物件等の売却に加え、利益率の高いマンションの販売が堅調に推移したことなどにより、増収増益。
- 不動産賃貸業は、収益はほぼ前年同期並みとなったものの、修繕費の増加などにより減益。

不動産事業内訳

(単位：百万円)

	2017/09	2018/09	増減額	増減率
営業収益	32,628	43,902	11,273	34.6%
不動産販売業	20,396	31,608	11,211	55.0%
不動産賃貸業	10,543	10,581	37	0.4%
その他	1,689	1,713	23	1.4%
営業利益	6,497	7,433	935	14.4%
不動産販売業	1,195	2,398	1,202	100.6%
不動産賃貸業	4,999	4,846	△153	△3.1%
その他	301	188	△113	△37.5%

セグメント情報（流通業）

（単位：百万円）

	2017/09	2018/09	増減額	増減率
営業収益	48,609	47,625	△984	△2.0%
百貨店業	23,079	23,326	247	1.1%
ストア業	15,797	15,105	△692	△4.4%
ショッピングモールの経営	7,397	7,275	△121	△1.6%
その他	4,487	4,004	△482	△10.8%
消去	△2,152	△2,086	65	—
営業利益	975	1,150	175	18.0%
百貨店業	△308	△221	87	—
ストア業	439	457	18	4.2%
ショッピングモールの経営	857	827	△29	△3.4%
その他	△17	81	99	—
消去	5	5	△0	—

（主な増減要因）

- 百貨店業は、インバウンド需要取り込みによる化粧品販売の好調などにより増収となり、損失改善。
- ストア業は、一部テナント契約の定借化の影響などにより減収となったものの、インバウンド需要取り込みによるユニクロ事業の好調などにより増益。
- ショッピングモールの経営は、自然災害による休業や時短営業の影響などで、減収減益。

セグメント情報 (レジャー・サービス業)

(単位：百万円)

	2017/09	2018/09	増減額	増減率
営業収益	15,951	15,009	△941	△5.9%
ホテル事業	13,701	12,838	△863	△6.3%
レジャー事業	2,337	2,185	△152	△6.5%
消去	△87	△13	73	—
営業利益	2,914	2,097	△816	△28.0%
ホテル事業	2,483	1,817	△665	△26.8%
レジャー事業	419	268	△151	△36.0%
消去	10	10	0	—

《ホテル稼働率 内訳》

	2017/09	2018/09	増減
ホテル京阪	97.5%	94.0%	△3.5pt
京阪ホテルズ & リゾーツ	94.9%	89.4%	△5.5pt

(主な増減要因)

- ホテル事業は、自然災害や「京都センチュリーホテル」改装に伴う営業休止による影響などで、減収減益。
- レジャー事業は、自然災害による影響などで、減収減益。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

		2018/03	2018/09	増減額	増減要因
資 産	流 動 資 産	168,266	161,414	△6,852	受取手形及び売掛金△11,340、 販売土地及び建物+6,588
	固 定 資 産	530,519	534,882	4,362	建設仮勘定+2,813、 投資有価証券+2,716
	資 産 合 計	698,786	696,296	△2,490	
負 債	流 動 負 債	161,600	154,396	△7,203	未払金△9,052、短期借入金△3,456、 短期社債+7,000
	固 定 負 債	313,626	309,259	△4,367	長期借入金△4,578
	負 債 合 計	475,226	463,656	△11,570	
純 資 産		223,559	232,639	9,080	利益剰余金+8,805 ※自己資本比率32.9% (+1.4pt)
負 債 純 資 産 合 計		698,786	696,296	△2,490	

(注) 『『税効果会計に係る会計基準』の一部改正』等を当期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産（固定資産）、繰延税金負債は固定負債に表示しており、2018年3月期についても遡及適用後の数値としております。

有 利 子 負 債	316,399	315,331	△1,068	借入金△8,035、短期社債+7,000
-----------	---------	---------	--------	----------------------

※有利子負債：借入金+社債+短期社債

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2017/09	2018/09	増減額	増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,607	17,225	10,618	売上債権の減少 + 7,836、 たな卸資産の減少 + 1,887
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,559	△17,000	△5,440	固定資産の売却による収入の減少 △8,501
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,520	△3,854	△6,375	長期借入れによる収入の減少 △13,457、 短期社債の増加 + 6,000
現金及び現金同等物の増減額	△2,432	△3,629	△1,197	
現金及び現金同等物の期首残高	18,324	20,300	1,976	
現金及び現金同等物の期末残高	15,892	16,671	779	

2019年3月期
業績予想

連結損益計算書（業績予想）

- 自然災害による影響を見込むものの、不動産事業の事業用土地売却等による増収や経費の見直しなどにより、営業収益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のすべてにおいて当初の目標を達成する見込み。

(単位：百万円)

	2019/03 5月発表予想	2019/03 今回発表予想	増減	増減率	2018/03	増減	増減率
営業収益	322,500	322,500	–	–	322,276	223	0.1%
営業利益	30,000	31,000	1,000	3.3%	31,458	△458	△1.5%
経常利益	28,000	29,600	1,600	5.7%	29,630	△30	△0.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	20,000	21,000	1,000	5.0%	22,712	△1,712	△7.5%
設備投資額	75,000	63,200	△11,800	△15.7%	39,745	23,454	59.0%
減価償却費	20,700	20,000	△700	△3.4%	19,113	886	4.6%
EBITDA	50,700	51,000	300	0.6%	50,571	428	0.8%
有利子負債	360,000	341,000	△19,000	△5.3%	316,399	24,600	7.8%
有利子負債EBITDA倍率(倍)	7.10	6.69	△0.41	–	6.26	0.43	–
ネット有利子負債 EBITDA倍率(倍)	6.71	6.35	△0.35	–	5.85	0.50	–
受取利息及び配当金	798	925	127	15.9%	854	71	8.4%
支払利息	2,516	2,402	△113	△4.5%	2,561	△158	△6.2%
金融収支	△1,717	△1,476	240	–	△1,707	230	–

セグメント情報（業績予想）

（主な増減要因：対5月発表予想）

- 全事業：自然災害による影響 減収△2,139百万円
（減収内訳 運輸業：△530百万円、不動産業：△34百万円、流通業：△776百万円、レジャー・サービス業△798百万円）
- 運輸業：経費の見直し
- 不動産業：事業用土地の売却や価格帯の高いマンション販売の好調
- 流通業：百貨店業の苦戦

（単位：百万円）

		2019/03 5月発表予想	2019/03 今回発表予想	増減額	2018/03	増減額
運輸業	営業収益	93,800	92,700	△1,100	92,262	437
	営業利益	9,700	9,800	100	9,180	619
不動産業	営業収益	110,300	115,000	4,700	113,132	1,867
	営業利益	14,700	15,900	1,200	15,316	583
流通業	営業収益	101,400	99,600	△1,800	100,709	△1,109
	営業利益	3,000	2,900	△100	2,845	54
レジャー・サービス業	営業収益	32,800	31,400	△1,400	31,298	101
	営業利益	2,100	2,000	△100	4,877	△2,877
その他の事業	営業収益	1,900	1,900	-	1,824	75
	営業利益	0	0	-	34	△34
全社・消去	営業収益	△17,700	△18,100	△400	△16,951	△1,148
	営業利益	500	400	△100	△795	1,195

運輸成績（業績予想） 京阪電気鉄道



	2019/03 5月発表予想	2019/03 今回発表予想	増減	増減率	2018/03	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
旅客収入	52,270	51,853	△417	△0.8	51,820	32	0.1
定期外	35,600	35,064	△536	△1.5	35,278	△214	△0.6
定期	16,670	16,789	119	0.7	16,541	247	1.5
旅客数	千人	千人	千人	%	千人	千人	%
定期外	152,217	149,612	△2,605	△1.7	151,946	△2,334	△1.5
定期	143,450	144,669	1,219	0.8	142,463	2,205	1.5

セグメント別設備投資（業績予想）

(単位：百万円)

	2019/03 5月発表予想	2019/03 今回発表予想	増減額	2018/03	増減額
設 備 投 資	75,000	63,200	△11,800	39,745	23,454
運 輸 業	18,200	19,300	1,100	14,952	4,347
不 動 産 業	22,800	20,300	△2,500	21,345	△1,045
流 通 業	3,000	2,500	△500	1,188	1,312
レシ`ャ-`サ-ヒ`ス業	6,700	6,900	200	1,959	4,941
そ の 他 の 事 業	0	0	-	7	△7
全 社	24,300	14,200	△10,100	293	13,906

セグメント別EBITDA（業績予想）

(単位：百万円)

	2019/03 5月発表予想	2019/03 今回発表予想	増減額	2018/03	増減額
E B I T D A	50,700	51,000	300	50,571	428
運 輸 業	21,700	21,800	100	20,469	1,330
不 動 産 業	20,600	21,200	600	20,334	865
流 通 業	4,400	4,200	△200	4,171	28
レシ`ャ-`サ-ヒ`ス業	3,200	3,100	△100	6,040	△2,940
そ の 他 の 事 業	0	0	-	71	△71
全 社	800	700	△100	△515	1,215

お問い合わせ先



京阪ホールディングス株式会社

経営統括室経理部

TEL 06-6944-2527

FAX 06-6944-2562